

令和7年（2025年）度行政評価シート【個表】 令和 7 年 6 月 20 日

評価対象事業		評価者	スポーツ課長 月花 信介	
健福-61	体育施設管理運営事業	☒ 自治事務	主管課	スポーツ課
		☐ 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	4-(6) スポーツ・レクリエーション	施策の方針	4-(6)-①スポーツ・レクリエーションの推進

1 事業の目的

対象	市民等
意図	市民等がスポーツ施設で気軽に楽しむことができるよう、スポーツ施設の適正な管理やスポーツに関する情報の発信を行うため
効果	スポーツ施設の適切な管理運営等を行い、より多くの市民等の利用促進を図る

2 令和6年(2024年)度を実施した事業の概要

・市民の誰もが「いつでも」「どこからでも」スポーツ施設の予約や抽選、空き状況の確認ができるよう、神奈川県公共施設利用予約システムの適正な運用を行った。
・市民が身近なところで、気軽に参加でき、また、自ら主体的にスポーツ・レクリエーションが行えるよう、場の提供を行った。
・指定管理者制度により、スポーツ施設の効率的な管理運営を行った。

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和6年度		令和7年度	達成度
				指標(実績値/目標値)		指標(目標値)	
				事業費(決算/当初)(千円)		予算額(千円)	
01	神奈川県公共施設利用予約システム運用事務	予約システム運用事務(電信料・負担金)	—	— / —	—	—	
				3768 / 4,648	11,949		
02	体育館管理運営事務	施設指定管理料	利用人数(人)	277,646 / 270,000	28,500		103%
				98495 / 98,870	98,302		
03	鎌倉海浜公園水泳プール運営事務	プール運営	利用人数(人)	10,344 / 13,800	11,000		75%
				48285 / 48,625	51,921		
04	西御門テニスコート運営事務	テニスコート運営	利用人数(人)	5,239 / 6,000	5,500		87%
				7865 / 8,845	8,770		
05	山崎浄化センタースポーツ等広場運営事務	広場の運営	利用日数(日)	348 / 353	353		99%
				6358 / 8,128	5,606		
06	スポーツ施設維持修繕事務	指定管理施設運営	工事進捗(%)	88 / 100	100		88%
				32033 / 63,072	36,928		
07	こもれび山崎温水プール維持修繕事務	施設大規模修繕工事	工事進捗(%)	220 / 100	100		220%
				17659 / 8,023	7,994		
08	一般事務経費	消耗品費	—	— / —	—		
				9095 / 13,631	13,085		
09				/			
				/			
10				/			
				/			
		財源内訳	国県支出金	/			
			地方債	15800 / 27200			
			その他特定財源	830 / 1778	1,778		
			一般財源	206928 / 224864	232,784		
			事業費の合計(千円)	223,558 / 253,842	234,562		
			人件費(千円)		13,438	15,404	

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	1.8	1.8	1.6	1.5	1.5	1.4
会計年度任用職員	3.0	3.0	3.0	2.0	1.0	2.5

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	神奈川県公共施設利用予約システム運用事務	神奈川県公共施設利用予約システムを活用することにより、事務を行うことから、指標の設定はなじまない。	神奈川県公共施設利用予約システムを活用することにより、市民がスポーツを行う場の提供に寄与した。	先進市のシステムと比べ、使い勝手が悪く汎用性がない。
02	体育館管理運営事務	利用者数は増加傾向にある。	指定管理者制度により、市民のスポーツに対するニーズやライフステージに応じた施設運営ができた。	指定管理者と十分な連携を図り、利用者のニーズに合った施設運営を行い、更なる利用者の増加につなげることが必要である。
03	鎌倉海浜公園水泳プール運営事務	前年度と比較すると利用者数は減少した。	夏季期間に市民が気軽に来場できる屋外プールを運営し、体力・健康づくりに寄与した。	鎌倉海浜公園水泳プールは、西側で崩落している急傾斜地の崖地対策と、築60年以上経過している施設や設備の維持が課題となっている。
04	西御門テニスコート運営事務	目標には達していないものの、例年並みの利用者数だった。	市民が気軽に利用できるテニスコートを運営し、体力・健康づくりに寄与した。	国大附属からの借用地であることから、受益者負担金の徴収ができない。
05	山崎浄化センタースポーツ等広場運営事務	鎌倉市の行事実施のため、計5日間閉場とした。	年間を通して、スポーツ団体等が利用できる広場を提供し、競技スポーツのきっかけづくりに寄与した。	深沢多目的スポーツ広場の代替施設として開設したが、この広場も暫定利用であることから、今後の深沢地域整備に向け、代替地検討を継続する必要がある。
06	スポーツ施設維持修繕事務	修繕計画に基づき修繕工事を実施したが、鎌倉武道館の電気修繕について、部品の調達の関係で令和7年度に実施が繰り越された。	安全に施設が利用できる状況を維持するために必要不可欠な事業である。	老朽化が進んでいるため、引き続き維持修繕を実施する必要がある。
07	こもれび山崎温水プール維持修繕事務	修繕計画に基づいた修繕工事に加え、追加の工事を実施した。	安全に施設が利用できる状況を維持するために必要不可欠な事業である。	老朽化が進んでいるため、引き続き維持修繕を実施する必要がある。
08	一般事務経費	消耗品等共通的な経費で指標の設定に適さない。		
09	0			
10	0			

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか		1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか		3 外部化ができる事業はない
	関連・類似する事業の統合はできないか		3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか		1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか		2 民間によるサービスで代替できる事業はあるが、民間による提供が不足している
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか		1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	○.負担導入済	○-1 受益者負担を求めているが、その額や対象等を再検討すべき事業がある
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施	△-2 市民等と協働して実施する事業はない
			協働実施済の場合のパートナー スポーツ協会 レクリエーション協会

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	☐ 拡充	☐ 改善・変更	☒ 現状維持	☐ 縮小	☐ 休止・廃止
・指定管理者制度の活用等による管理運営により、市民等が安全にスポーツを行う環境を提供することができた。 ・老朽化している施設や設備について、市民が安全かつ快適に利用できるよう、引き続き維持修繕等を行っていく必要がある。					

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)	鎌倉海浜公園水泳プール利用者数						単位	人
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
スポーツ施設の利用者数を把握することにより、市民のスポーツ活動の状況を客観的に捉えるため。	目標値	35,000.0	35,000.0	6,900.0	13,800.0	13,800.0	11,000	
	実績値	0.0	8,429.0	8,430.0	12,417.0	10,344.0		
	達成率	0.0%	24.1%	122.2%	90.0%	75.0%		

指標(単位)	指定管理スポーツ施設利用者数						単位	人
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
スポーツ施設の利用者数を把握することにより、市民のスポーツ活動の状況を客観的に捉えるため。	目標値	457,600.0	457,600.0	457,600.0	457,600.0	270,000.0	285,000.0	
	実績値	170,501.0	224,541.0	250,696.0	269,797.0	277,646.0		
	達成率	37.3%	49.1%	54.8%	59.0%	102.8%		

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	近隣各市のスポーツ施設数(上段:屋内施設 下段:屋外施設)							
団体名	鎌倉市	平塚市	藤沢市	小田原市	茅ヶ崎市	逗子市		
他市実績	4	2	3	2	3	1		
	2	11	12	9	5	3		

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	本市の体育館は規模が小さく老朽化も進んでいるが、数が多いことを活かし、地域の要望に合わせた教室やイベントの開催などのソフト面のサービスを充実させ、市民の満足度を維持していく。 屋外グラウンド等については、県内他市の平均と比較して整備数が少ないため、スポーツ団体は市民大会等の開催に苦慮している実情がある。新規に整備できるまでは代替場所の使用などで補えるよう、情報収集に努めていく。
--------------------------	---